

ますは!!

「何をすべきでしょう」

「人々はこれを聞いて大いに心を打たれ、ペトロと他の使徒たちに、『兄弟たち、私たちは何をすべきでしょうか』と言った。」

(使徒言行録 第2章37節・新約聖書212頁)

はじめに

聖霊降臨とは、贖いの死を遂げるために肉体をもってこの世に来られた主イエスが、一旦天に昇られた後、目に見えない霊の形でこの世に降られた出来事です。主イエスが私たちと共に歩み、私たちと語り、教え導き、御業を起こしてください。それによって私たちは主イエスが生きておられることを実感しながら、力をいただいで歩むことができます。

聖霊の力

ペテロたちは主イエスが昇天された後、後ろ盾を失い、隠れるようにして生活をしていました。もし主イエスがおられなければ、生きる目的を失い、毎日を力なく生きていくしかない、私たち信仰者もそうではないかと思えます。しかし、聖霊の力は、そのような状況を一変させるのです。

ペトロはヨエルの預言が成就したのだと証しし始めました。聖霊降臨は終わりの日に起こるしるしであること、救い主を呼び求める者が救われる、その日なのだと言います。

聖書における終わりの日をわかりやすく例えるならば、「ホームに着いた電車のドアが開いているわずかな時間」だと言えます。今まで隠れるようにして生活をしてきた弟子たちは、この切羽詰まったような終わりの時間を実感することで、「早く乗れ!」と叫ぶように、救いを受け入れるように説いたのです。

証しをする

私たちがまた、主イエスを救いを受け、主と

共に生きていることを信じている者です。それははなによりも私たちが聖霊を受けている者であることを証明しています。まずこの思いを深く受け止める必要があります。主イエスが共におられることを確信していくならば、ペトロたちのように、証しする力が心の中から湧き上がってくるはずで、自分が主イエスの救いによって命をいただき、力をいただいていることを明かしせずにはいられなくなるのです。

何を語ったか

ペテロはダビデの詩(詩編16)を引用し、主イエスを信じることで「私の人生は揺らぐことがなくなりました」と証ししました。主が絶えず支えてくださるからです。次に「心身共に充実し、休らうことができています」と証ししました。主が魂にも肉体にも癒しを行ってくださるからです。そして、「希望に満ちて永遠の命に至る道を歩んでいます」と証ししました。主が十字架にかかって贖い、救いの道を開いてくださったからです。そして、この証しを聞いた人たちが救いを求め、「何をすべきでしょう」と言ってきた時、主を信じなさいと勧めたのです。この日、3千人が仲間に加わりました。ペテロたちの証しがいられ、それだけの人たちの魂を揺さぶったのです。聖霊の力によって私たちは証しすべきです。そうするならば「何をすべきでしょう」と応える者たちが起こるに違いありません。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「人々はこれを聞いて大いに心を打たれ、ペトロと他の使徒たちに、『兄弟たち、私たちは何をすべきでしょうか?』』(ローマの信徒への手紙 2:37 ~ 38)

隠れるようにして生活をしてきたペトロや弟子たちの上に聖霊が降りました。その時、ペトロたちは力を受け、家の外に出て、主イエスが



救い主であることを証しし始めました。考え、振り返ってみると、私もペトロたちのように家に隠れ、また主イエスを信じているのにも関わらず、そのことが恥ずかしいような、公にしてはいけないようにして生活をしていたように思います。しかし、彼らは力を受けました。そして、心からあふれ出るようにして救い主イエスを証しし始めたのです。その時、この時を待っていたとばかり、多くの人たちが信仰を持ったのです。どうか、私が聖霊の力をしっかりと受け止め、赤しできるように変えてください。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (107) 第5章10節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「よその者があなたの富とあなたが労苦して得たものによって 異国人の家を満たさないために。」

◎口語訳 「おそらくは他人があなたの資産によって満たされ、あなたの労苦は他人の家に行く。」

◎新改訳 「そうでないと、他国人があなたの富で満たされ、あなたの労苦の実は見知らぬ者の家に渡るだろう。」

「異国人の家を満たす」

相模原に来て、それほど経っていない時期だったと思いますが、近所に理髪店を見つけ、調整してもらいました。とても丁寧で、2~3日後に「いかがですか」と散髪後の様子について電話で連絡をくださるような方でした。

ところが、何週間か経ったある日、突然、その理髪店に「〇〇興業」とか大書してある看板がかけられていたので、びっくりしました。一見、ヤクザの事務所みたいだなと思ったのですが、あとになって、地域の事情通の人から、「先生、知ってますか?」と話しかけられ、聞いたところによると、その理髪店のオーナーは麻雀が好きで、時々、仲間を誘って、賭け麻雀をやっていたのだけれど、ある日、ヤクザがらみの相手と賭け麻雀をして、大負けしてしまい、「家」を

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1 ~ 9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1 ~ 22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17 ~ 31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17 ~ 24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1 ~ 29:27)
 - c アグルの言葉 (30:1 ~ 33)
 - d レムエルの言葉 (31:1 ~ 31)

カタに取られてしまった。相手は非情なヤクザです。すぐに家を追い出され、その日のうちに組の若い衆が看板を掛けて、住み込んだ。私が目にしたのはそれだったわけです。その人は治安が悪くなったと近所で話をしているところでしたが、今は分譲されて一般の方が住んでいるその場所を通ると、それまで築いてきたものが一瞬のうちに奪われてしまったオーナーは、その後どうしたのかなと、時々思い出してしまいます。まさにこの言葉を具現しているような出来事です。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

詩編第39編5節「主よ、知らせてください、私の終わりを。私の日々の長さ、それがどれほどであるかを。私は知りたい、いかに私がかかれないかを。」◆「私たちは吐息のように年月を終える」(90:9)とあるが、「ほーっと」生きていたら、ほんとうにそうだろう。だが、私たちは神によって生かされていることを知っている。神は私たちを神の栄光のために生かしてくださっている。ならば、思い切って神の栄光を表そうではないか。どれだけ充実した一日が送れるだろうか。神のために生きる一日が何にも代えがたいうるわしい時間となるはずだ。

●賛美 / 172 ●祈禱課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

詩編第40編17節「あなたを尋ね求める人すべてが あなたによって喜び楽しみ あなたの救いを愛する人が『主は大いなるかな』と絶えることなく言いますように。」◆底なし沼にはまっても、そこに主の手が差し伸べられる。そんな経験をしていたダビデは、とにかく主に信頼して生きた。どんなに道が暗くても、残っている力をふりしぼって主を呼んだ。私たちは、ダビデが経験した「主の助け」を数多く体験すべきである。だからこそ、どんな時にも主を呼ぶべきだ。そして、主が応えてくださることを体験していくべきだ。

●賛美 / 173 ●祈禱課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

詩編第41編10節「私が信頼していた友さえも 私のパンを食べながら 威張って私を足蹴にします。」◆人間関係でよくあるのは裏切りだ。そして、これほど心が傷つけられる行為はない。多くの人が人間不信に陥っている。主イエスもまた弟子たちに裏切られた。歓迎してくれた多くの人々にも、「十字架にかけろ」とののしられた。その時、主はなんと言われたか。「どうぞ彼らをゆるしてください」と祈っておられる。それは裏切ることのない父なる神が支えておられたからだ。神だけは私たちをお見捨てにはならない。

●賛美 / 174 ●祈禱課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
◆宗教法人を取得できるように
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

詩編第42編2節「鹿が涸れ谷で水をあえぎ求めるように 神よ、私の魂はあなたをあえぎ求める。」◆詩編は5巻に分かれ、この詩編から始まる第2巻は特に「苦難からの救い」に焦点が当てられた歌が多い。水が流れていない川に来て、あえいでいる鹿を見て、自分の苦しみとだぶらせたのだろう。「魂がうち沈む」とは、がっくりと膝を落として伏せてしまう様子を表している。口語訳の「うなだれる」ではそこまで感じない。愕然とし、言葉も出てこないような出来事に、私たちは神を待ち望めと、魂に言い聞かせることができるだろうか。

●賛美／175 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第43編2節「あなたこそ、わが砦なる神。なぜ、私を拒まれたのですか。なぜ、私は敵の虐げの中を嘆きながら歩むのですか。」◆詩編には、この言葉に類似する聖句がよく出てくる。その通りだと共感できる人もいるだろう。だが、そこで終わってはならない。そのような時にどうすればいいのかを教えるために詩編がある。この詩では「あなたの光とまことを遣わしてください」「聖なる山、あなたの住まいに伴って」くださいと願っている。作者は、そこに大きな喜びがあるとわかっているからだ。私たちも同様に祈ろうではないか。

●賛美／176 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第44編3節「あなたはその手をもって国々を追い払い 先祖を植えられました。諸国の民を災いに落とし、先祖を広げさせました。」◆神の民たちは神によって相続地に導かれた。あたかも天国のように豊かで、安全に暮らすことができると思っていたに違いない。ところが、攻め取っていく戦いがあり、偶像を拝む民の影響を受け、逆に侵略もされた。私たちの信仰生活も同様である。私の「相続地」は神が私たちを「植えた」場所である。そこで生きなければならない。だからこそ、そこには神の勝利がもたらされることも忘れてはならない。

●賛美／177 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第45編2節「私の心に湧き立つ美しい言葉 私の詩を王のために歌おう。私の舌は巧みに物書く人の筆。」◆この詩編は「メシヤ（救い主）詩編」と呼ばれている。なぜか、ここによまれている結婚式の情景にも似た形容が、花婿である主キリストと花嫁たる教会の関係を表しているとされるからだ。私たちは主が迎えてくださる群れであることを自覚し、常に準備しているべきだ。その一つは、日々に神への愛を深めていくことである。うるわしい言葉であふれるように、口をもってそれを告白していくのだ。

●賛美／178 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【しとげんこうろく 3:1 ~ 4:22】

「ペトロのせんきょう」

(しとげんこうろく 4:12)

せいいいのちからにみちあふれたでしたちは、いままでのおどおどしたようすではなく、みんなおおくのひとたちのまえでむねをはって、「イエスさまこそわたしたちのすくいぬしです」とつたえはじめました。

ペトロとヨハネがしんでんにいったとき、「わたしをあわれんでくださるなら、おかねをください」とおねがいしてきたあしのふじゆうなおとこのひとに、「わたしにはきんやぎんはないがもっているものをあげよう。『ナザレのひとイエス・キリストのなによってたちあがり、あるきなさい』という、そのひとはすぐにたちあがり、かみをさんびしはじめました。

みているひとたちはみなびっくりしましたが、あわてたのはさいしたちです。そのばで、ペトロは「きゅうやくせいしよでよげんされ

ていたすくいぬしはこのイエス・キリストです」とはなしはじめたからです。

すぐにペトロとヨハネをとらえてろうやにいれました。そしてそのよくじつ、だいさいしやちょうろうたちのまえによびだされました。そして、たずねられたのです。

「おまえたちはなんのけんいでだれのなによって、こんなことをしたのか」。さいしちょうたちは、イエスさまのことをわすれてほしいとおもうほど、きらっていましたが、でしたちがイエスさまのことをすくいぬしだといっていることがゆるせなかったからです。

ペトロはそれをしていましたが、ちからをこめていいました。「わたしたちのしゅイエス・キリストによるいがいにすくいはありません。てんかにこのなのほか、すくいはないのです」。

ひとびとはペトロとヨハネのどうどうとしたたいどをみて、おどろき、たつてあるいているおとこのひとがいるので、なおさら、なにもいうことができませんでした。

●かんがえてみよう

☆ペトロは「おかねをください」といつてきたあしのふじゆうなおとこのひとなんといいましたか。(しとげんこうろく 3:6)

☆ペトロはしんでんでだれのなまえにけんいがあるといいましたか。(しとげんこうろく 3:16)

☆とりしらべられているとき、ペトロはイエスさまについてなんといいましたか。(しとげんこうろく 4:12)



なむむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

な
ざ
れ
の
ひ
と
い
え
お

ざ	な				え	す	れ	ひ
え	れ	と				ざ		い
	ひ	す	の	ざ			な	
す	と	え					い	の
	ざ		と				す	れ
の								と
れ	え				の	い	と	す
と	の	い						
ひ			れ	い	と	の	え	な

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① ひつのふうと
- ② にんせごん
- ③ もんじん
- ④ かんしゅ

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「変えてはならない」

先日も話題にいたしました、にわかに憲法改正議論が高まっているようです。高市首相の動きだけではなく、多大な影響が出てきているイラン問題がからんでいるからでしょう。特に第9条の扱いです。再度確認をすると、第1項は（戦争の放棄）「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。」第2項は（戦力不

保持・交戦権の否認）「前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。」です。

5月から「主よ平和を与えたまえ」を賛美するようにしました。それは当たり前のように武力を行使する風潮が世界を犯し、このままではそれが正義であるかのように受け止められてしまう可能性があるからです。平和とは、まず神との平和を実現することであり、そして神との平和に生きることによって、人々との平和が実現していくことを意味しています。そのためには、武力は必要ありません。持っているから使いたくなる。だから、それも捨ててしまえばいいのです。だからこそ憲法第9条は変えてはならないのです。

聖書ふれあい街歩き

●ツォアンの野

詩編 78 編に 2 箇所 (12、43) 登場します。エジプト北東部にあった古代都市ツォアンを指します。「奇しき業」とあるので、エジプトでの災いの舞台でも会ったと考えられます。

ツォアンは一時期、ファラオが住んだとも言われていて、イパレスチナからすると、エジプトへ入る入口、そしてイスラエルの民たちが住まいを得たゴシエンの地の近くでもありました。

「野」とあるように、荒れ野ではなく平野や牧草地帯、広い農耕地だったはずですが。この詩編 78 編にあるように、神が奇しき業によって救いをもたらしたのにも関わらず、民はそのことを忘れ、幾度も神に背きます。そこでその業を行われ、神がすべての神々の神であることを明らかに示した場所、そしてファラオの権威をおとしめた代名詞のようにして、「ツォアンの野」と歌ったのです。

実はイザヤ書やエゼキエル書にも「ツォアン」が出てきます。イザヤ書は「ツォアンの高官は愚か」というように、エジプトの知恵や権力の限界を示す象徴として扱っています (19:11)。国家権力、人間の知恵、神に敵対する力を称して出てくる都市名です。

ななめ聖書 先週のこたえ

ど	あ	や	き	ろ	し	ん	お	だ
だ	ん	し	お	め	ど	ろ	や	き
ろ	き	お	や	だ	ん	ど	あ	し
お	ろ	き	あ	ど	や	だ	し	ん
し	ど	あ	だ	ん	お	き	ろ	や
や	だ	ん	ろ	し	き	お	ど	あ
あ	や	だ	ん	お	ろ	し	き	ど
き	お	ど	し	や	だ	あ	ん	ろ
ん	し	ろ	ど	き	あ	や	だ	お

- ①たこくのことば
- ②はげしいかぜ
- ③とつぜん
- ④ぼんとす



パウロの弁明

そこで、パウロは最高法院の議員たちを見つめて言った。「兄弟たち、私は今日に至るまで、あくまでも良心に従って神の前で生きてきました。」

すると、大祭司アナニアは、パウロの近くに立っていた者たちに、彼の口を打つように命じた。

パウロは大祭司に向かって言った。「白く塗った壁よ、神があなたをお打ちになる。あなたは、律法に従って私を裁くためにそこに座っているながら、律法に背いて、私を打て、と命令するのですか。」

近くに立っていた者たちが、「神の大祭司を侮辱する気か」と言った。

パウロは言った。「兄弟たち、その人が大祭司だとは知りませんでした。確かに『あなたの民の指導者を悪く言ってはならない』と書いてあります。」(使徒言行録23:1~5)



最高法院の様子

【あんた誰?】

大祭司が立ち上がって「だまらっしゃい！」と叫ぼうと身を乗り出した瞬間、大祭司の側近が「神の大祭司を侮辱する気か！」と怒鳴りました。するとパウロがこう言います。「その人が大祭司だとは知りませんでした」。

パウロは本当に知らなかったのでしょうか。確かに、パウロの謝罪の言葉からして、知らなかったのだと思います。しかし、そうすると疑問がわいてきます。例えば国会でもそうですが、議長席は中央であり、副議長が両隣、そして内閣の大臣たちの席も決まっています。最高法院が開かれる際にも座る席は決まっていたはずですが、パウロがそれを知らなかったはずはありません。また「口を打て」と言った人物が、この議会を牛耳っていることだって雰囲気でも分かったはずですが、本当のところはどうなのか。パウロが言った言葉を素直に受け止めて検証してみると、いくつかの理由が浮かんできます。

まず、この審議はローマの大隊長の緊急招集から始まっています。開始日時が決まっている議会ならば、それぞれが落ち着いて自分の席に座るでしょうが、混乱し、騒然とする中、集まれるかどうかもわからないような状況でもありましたから、議員は集まってきた順に座り、大祭司などは遅れて到着、あわただしく始まったとしたら、だれが大祭司なのか、にわかに判別しにくかったのかもしれない。

さらに、パウロは長い間エルサレムを離れていました。エルサレムに住んでいたならば、誰が大祭司であるのかわかりますが、パウロはアナニアと初対面であった可能性があります。

大祭司は大祭司たる格好をしています。パウロはその見分けもつがなかったのでしょうか。これは多少強引な理由ではありますが、パウロは視力が弱っていた可能性があります。「ご覧のとおり、私はこんなに大きな字であなたがたに書いています」(ガラテヤ6:11)とありますが、このガラテヤの信徒に送った手紙は大迫害を受けた伝道旅行から戻ったときに書かれています。そのため、腕などが負傷し、体が不自由になっていたからとみられるのですが、目もまた見えにくくなっていたのかも知れません。そのため、細かい字が書けなかった。そうすると、ここでパウロは議場に立ったものの、議員一人一人を判別することが難しい状況であったとみなすことができます。

いや、やはりパウロの発言は皮肉だろうとの考えも成り立つことは確かです。「こんな不正な命令を出す者が大祭司のはずがない」という思いが「その人が大祭司だとは知らなかった」という発言に結びついたと言えなくありません。ただ、後の謝罪の調子から見ると、可能性は低いのではないのでしょうか。

いずれにせよ、重要なのは「すぐに謝った」ことです。これは「あなたの民の指導者を呪ってはならない」(出エジプト22:27)が根拠になっています。相手が誰であれ、指導者への敬意は律法として守るべきだとの解釈があったのですが、パウロはこの旧約聖書の言葉をすぐに根拠として持ち出し、自らの律法の知識に精通していることを証明し、同時にその律法に従っていることを示すために、大祭司と認識した直後に謝罪したのでした。この行為はパウロがどのような人物であるかを議会に知らしめた発言となりました。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されておられ、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲
げています。

わたし
私たちはイエス・キリストを救い主として信じ
ています。

しゅ
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改
めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、
ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵み
を明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、
十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の
国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の
国に属して生きる者となった私たちは、聖書が
示しているこの時代に、使命を全うすべ
く、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と
信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与
えられた教会の一員とされたことを覚えながら、
聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩
みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

